

令和6年度 就職先アンケート実施結果

教学部・キャリアサポートセンター

1. 目的

今後の教育内容や方法、在学生の就職指導、および卒業生へのキャリア教育の充実を図る。

2. 調査方法

郵送による依頼文書送付と Google フォームによるオンライン調査

3. 調査対象

223 件（官公庁 10 件、企業 83 件、教育機関 8 件、病院 89 件、保育園等・福祉施設 33 件）

4. 回答期間

令和6年8月21日（水）～令和6年9月18日（水）

5. 回答状況

110 件/223 件 = 49.3%

以下の回答の前に、本学の卒業生（個人を特定しない）について、学科（
()内主な資格等）をイメージしてお答えください...い。複数学科回答する場合は別途ご回答ください。
110 件の回答



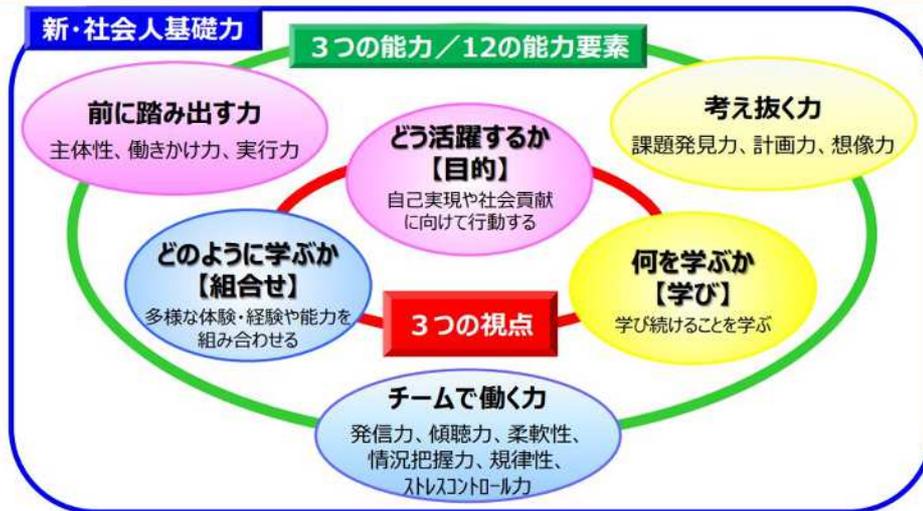
| 学 科 | 情報 | 福祉 | 栄養 | 薬 | 看護 | 理学 | 子ども | 生物 | 合計 |
|-----|----|----|----|---|----|----|-----|----|-----|
| 回答数 | 21 | 21 | 16 | 8 | 14 | 10 | 11 | 9 | 110 |

※複数の卒業生が入職・入社している勤務先のため、同一企業が複数回答可能。

経済産業省のホームページ (<https://www.meti.go.jp/policy/kisoryoku/index.html>) に記載された資料を基に、本学学生がそれぞれの能力や視点を有しているか、回答をいただいた。

「人生100年時代の社会人基礎力」の見直しのイメージ

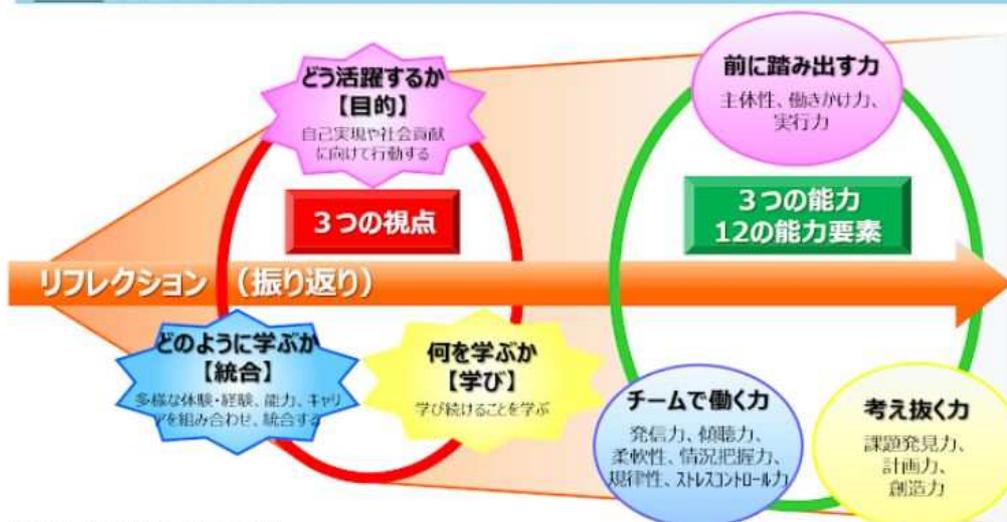
「新・社会人基礎力」は、これまで以上に長くなる個人の企業・組織・社会との関わりの中で、ライフステージの各段階で活躍し続けるために求められる力と定義され、社会人基礎力の3つの能力/12の能力要素を内容としつつ、能力を発揮するにあたって、目的、学び、組合せのバランスを図ることが、自らキャリアを切りひらいていく上で必要と位置付けられる。



3

「人生100年時代の社会人基礎力」とは

「人生100年時代の社会人基礎力」は、これまで以上に長くなる個人の企業・組織・社会との関わりの中で、ライフステージの各段階で活躍し続けるために求められる力と定義され、社会人基礎力の3つの能力/12の能力要素を内容としつつ、能力を発揮するにあたって、自己を認識してリフレクション(振り返り)しながら、目的、学び、統合のバランスを図ることが、自らキャリアを切りひらいていく上で必要と位置付けられる。

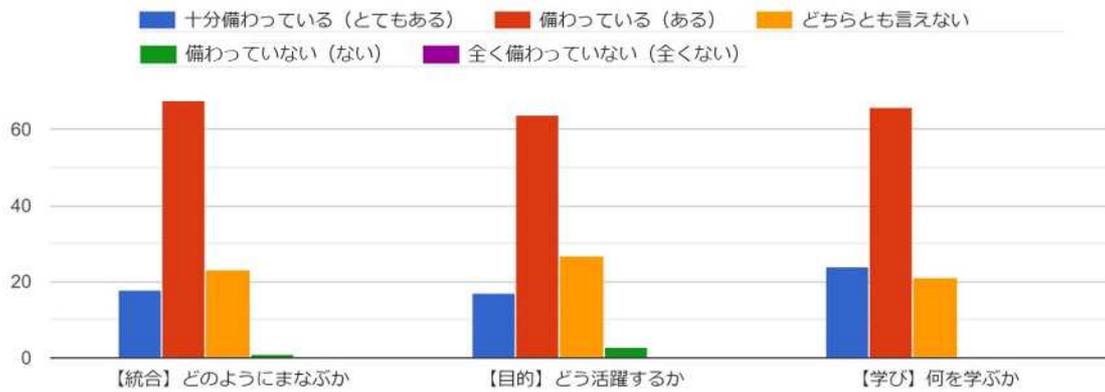


経済産業省 社会人基礎力ホームページより抜粋

3つの視点について

統合：どのように学ぶか／目的：どう活躍するか／学び：何を学ぶか

3つの視点（回答110件）

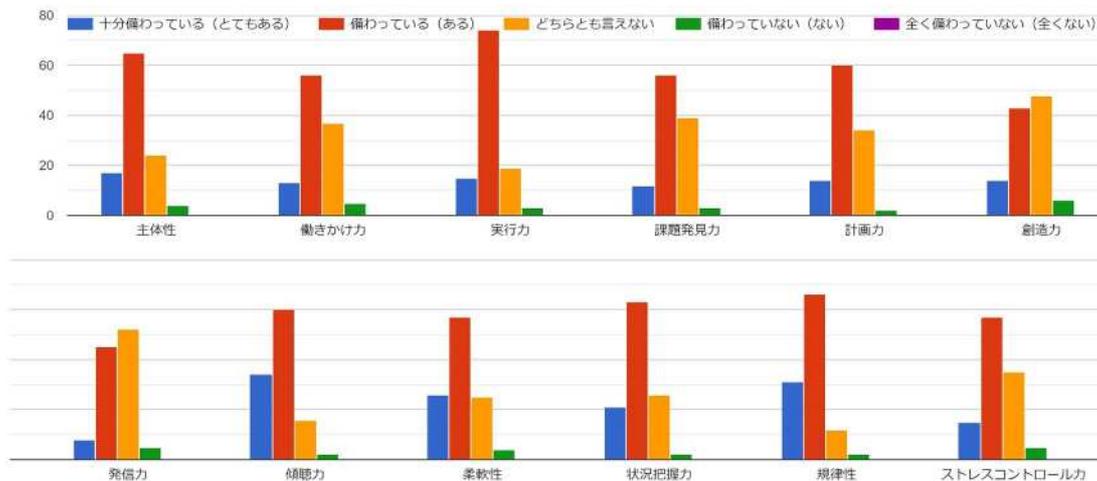


回答状況から、本学卒業生については概ね「3つの視点について」は備わっているとの回答を得た。

12の能力要素について

主体性／働きかけ力／実行力／課題発見力／計画力／創造力／発信力／傾聴力／柔軟性／状況把握力／規律性／ストレスコントロール

12の力（回答110件）



社会人基礎力12の能力要素についてそれぞれ卒業生の状況を回答いただいた。

グラフで「どちらでもない」「備わっていない」「全く備わっていない」との回答が多い能力要素は、「発信力」「想像力」であった。やや多かったのは「課題発見力」「働きかけ力」「ストレスコントロール力」「計画力」である。

それぞれ経済産業省の説明を以下抜粋する。

| 能力要素 | 説明 |
|-------------|--------------------------|
| 創造力 | 新しい価値を生み出す力 |
| 発信力 | 自分の意見をわかりやすく伝える力 |
| 働きかけ力 | 他人に働きかけ巻き込む力 |
| 課題発見力 | 現状を分析し目的や課題を明らかにする力 |
| 計画力 | 課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力 |
| ストレスコントロール力 | ストレスの発生源に対応する力 |

オレンジ：前に踏み出す力（Action）

イエロー：考え抜く力（Thinking）

ブルー：チームで働く力（Teamwork）